

パイロットクラスにおけるアンケート結果の報告

福島祥行

文学部仏露教室 / フランス語担当

fukushim@lit.osaka-cu.ac.jp

0. はじめに

昨年度と同様¹、今年度も、筆者担当のフランス語のクラスにおいて、「外国語教育に関するアンケート」と称し、個人的に調査したい事柄数点にかんするアンケートを行なった(調査項目は後掲)このアンケートの結果から、LL 実験室の授業にまつわる部分のみを以下に掲げ、いささかのコメントを付してみたい²。

1. アンケート対象

アンケート対象クラスと調査人数、および実施日は以下のとおりである。

- (1) フランス語入門2(文学部[L]) 前期提供.....28人 [1998年7月8日]
- (2) フランス語初級2(文学部[L]) 後期提供.....21人 [1999年1月20日]
- (3) フランス語中級3(商学部[C]) 後期提供.....35人 [1999年1月19日]

クラス(1)と(2)は、後期から加わった1人を除き、同じ受講生からなる。1回生を対象としたクラスであるので、LL 実験室での授業を受けるのは、後期参加の1人を除き、初めての学生ばかりである³。(3)のクラスは2回生対象のクラスであるが、LL 実験室での授業は初めての学生ばかりであった。したがって、(1)と(3)は CALL 教室・教育初心者の意見であり、(2)は 13 コマの授業を受けて後の意見ということになる。

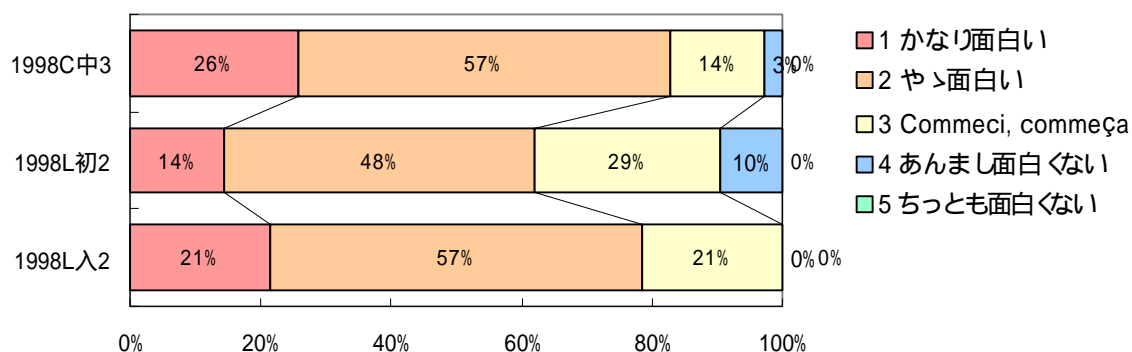
2. 項目とその解答とその分析

アンケート項目のうち⁴、LL 実験室にかんする 3-1 以下について、数値をグラフ化したものと自由記述の内容を次に示し⁵、簡単な分析を施してみたい。

3-2 LL 実験室の授業について

1 昨年度の報告は福島(1998)。
2 なお、当該クラスの授業内容については、この報告書にある、筆者のパイロットクラス授業内容報告を参照されたい。
3 後期から加わったこの1人は、昨年度に LL 実験室における授業を経験済みである。
4 アンケートの全体については、後掲の資料参照。
5 仮名遣い等は、原文のままである。

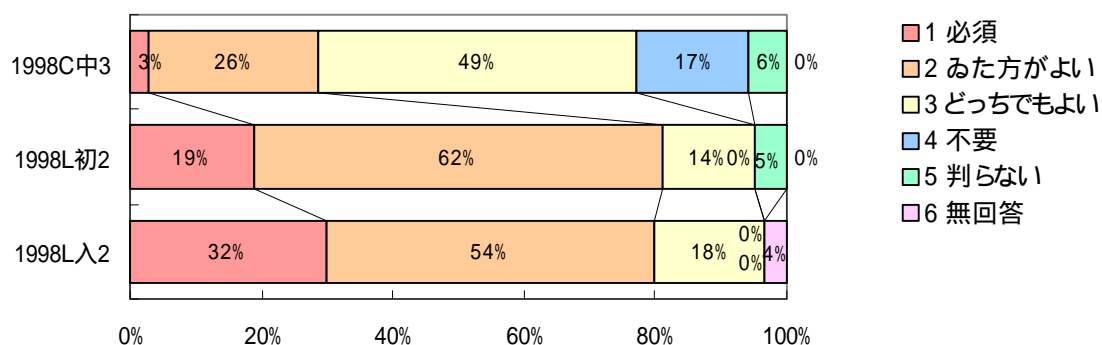
3-2-1 コンピュータ使用の授業内容について



LL 実験室を利用した評価はかなり高く、いずれのクラスにおいても、「かなり面白い」「やゝ面白い」併せた割合は 60% 以上を占める。(2)のクラスの評価が(1)のときに比べて低くなっているのは、母数の少なさが1票の率を押し上げたことと、後期にはコンピュータを受講生自身に使用させる割合が減ったためと、前期におけるような「もの珍しさ」が無くなったためではなかろうか。

また、(3)のクラスは(1)と同様高支持率であるが、受講生の多くが一年半の大学生活の中でこのような授業環境に置かれたのが初めてであり、他の授業環境との比較による新鮮さが反映されていると考えられる。

3-2-2 TA(Teaching Assistant)について

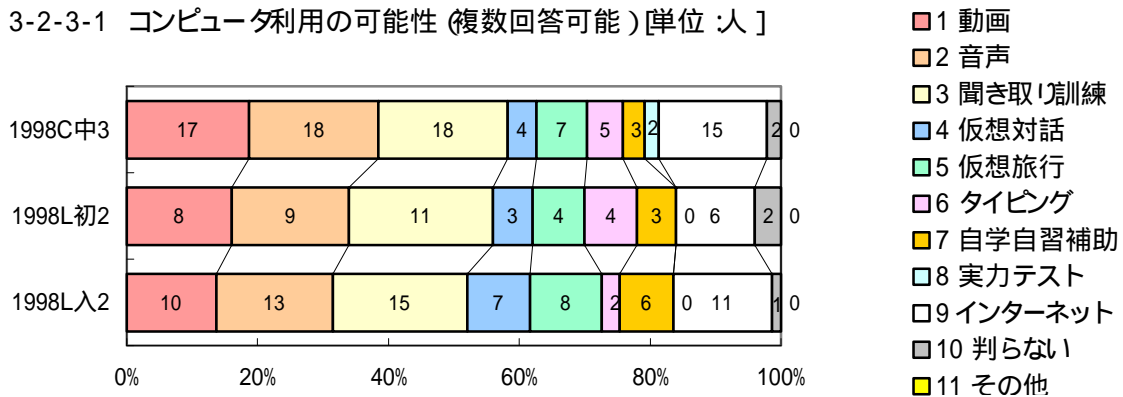


クラス(1)(2)は TA クラスであり (3)は非 TA クラスである。回答結果はその事情を如実に反映し、(3)において「必須」「みた方がよい」と答えたものは3割にとどまっている。実際に TA が教室におり、昨年度同様機器操作・保守のアシスタントを務めた(1)(2)においては、8割が必要性を認めており、改めて TA の必要性が感じられるが⁶⁾、同様にコンピュータがらみのアクシデントが生じていた(3)の回答結果は、「いないのであれば、それでも何とかなる」ということを示している。とは云い条、教師の側から云わせてもらえば、トラブル時に独力で事にあたるのがまことに大変な仕事であったのは云うま

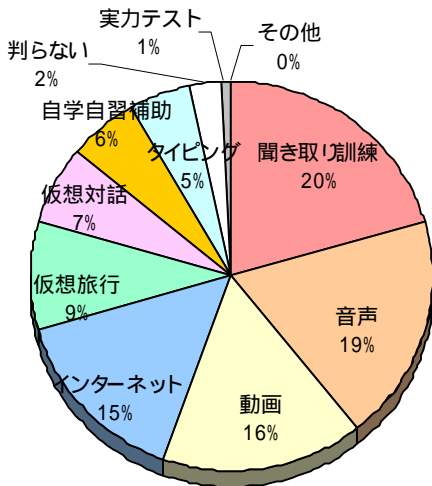
6 もちろん TA は機器の保守要員としてのみ存在したのではなく、その他諸々の TA 業務もこなし、受講生たち

までもない。

3-2-3-1 コンピュータ利用の可能性 (複数回答可能) [単位: 人]



3-2-3-1 コンピュータ利用の可能性 (合計の%)



これもほぼ授業内容を反映して、「音声」関係と「動画」が多くの支持を得た。次いで(1)(3)において「インターネット」への期待度が高いのは、CALL 経験度によって「コンピュータ = インターネット」という図式が崩れるからであろうか。

トータルでは、「聞き取り」「音声」で 39%、これに「動画」も加えると 55% と上位三項目で過半数を越え、第4位の「インターネット」までで 60% が占められた。仏検⁷の過去問題を簡

単な自学自習用ファイルにしたものにコンピュータ上で取り組んだこともあるにもかかわらず、「自学自習補助」「実力テスト」のポイントが低いのは、「コンピュータ = 非従来型勉強法 = 会話重視」という認知のネットワークが存在するためではないかと考えられる。なお、アンケートの 3-1 において「新修外国語の授業に望むこと」を尋ねているが、授業経験年数が増えるにつれ「AV 機器を多用してほしい」「発音に力を入れてほしい」のポイントが高くなっている⁸。CALL 教室のみならず一般教室においても AV 機器の需要が高まっている現状と合わせ、まだまだ教育機器が未整備であることを伺わせよう。

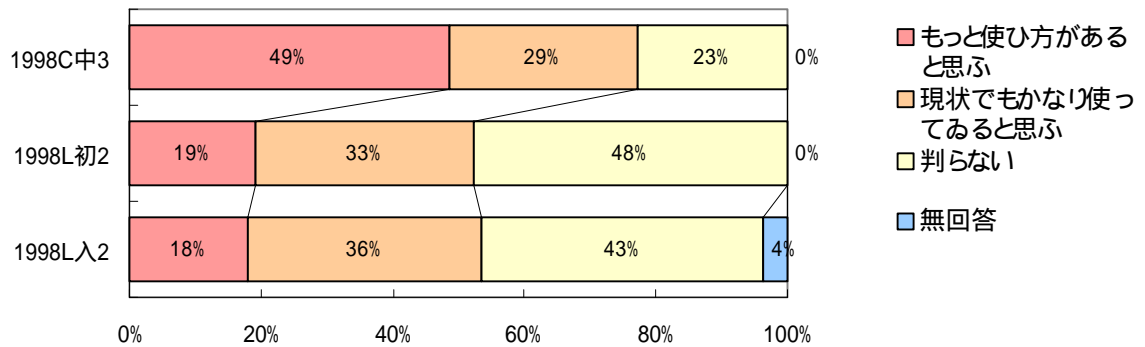
に溶け込んでいたので、這般の消息も踏まえる必要がある。

7 正式名称は「実用フランス語技能検定試験」。現在文部省認定の語学技能試験は仏検と英検のみである。

8 「3-1 授業に望むこと」[単位: 人]

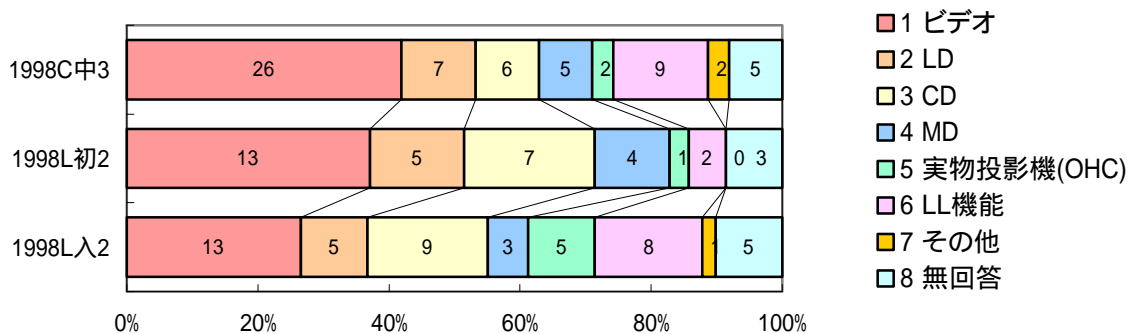
AV機器を多用してほしい	32	コンピュータを活用してほしい	14
優しく教へてほしい	30	ヴォキャブラリーを憶えさせることに力を入れてほしい	13
発音に力を入れてほしい	23	実際のフランス語のテキストの読解力養成に力を入れてほしい	9
ゲーム要素を取り入れてほしい	21	その他	6
文法に力を入れてほしい	18	厳しく教へてほしい	1
練習問題に力を入れてほしい	14		

3-2-3-2 現状の利用について

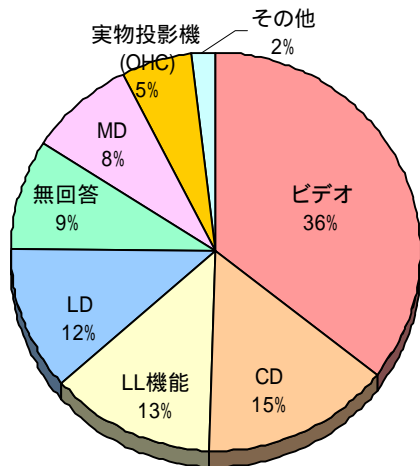


現状の利用、すなわち筆者の利用状況に対する評価は、(1)(2)と(3)の間に差が出ている。この原因の一つは、「入門」「初級」の授業においては文法説明などでも頻繁にコンピュータを用いたのに対し、教授内容を絞り込んだ「中級」ではコンピュータを用いるパターンが2つほどしかなかったことに由来しそうである。先の「利用の可能性」の結果と併せて考えてみると、「インターネット」に対する要求が強かったのかもかもしれない。

3-2-4 もっと利用してほしいその他機器 (複数回答可) [単位 :人]



3-2-4 もっと利用してほしいその他機器 (合計の%)



AV 機器の利用に対する要求が半数を占めている。いずれのクラスにおいても、コンピュータを利用したとはいえ、それでデジタル動画をたくさん見せたわけではないので、これは、先の 3-1 の結果からも類推できるように、授業内容一般に対する要求であると看做せよう。

なお、「無回答」のポイントが高いの

は、「特になし」「わからない」という意見の反映させどころが、選択肢中に無かったためかもしれない。

3-2-5 LL 実験室について⁹

長所:

クラス(1)

- ・語学を効率よく学べる。自主的な勉強ができる。涼しい。
- ・何となく楽しい。何となく未来気分。
- ・好きなようにコンピュータが使える。
- ・発音をきける。
- ・コンピュータに慣れ親しむことができる。解説がわかりやすい。
- ・きれい。コンピューターが一人一台使えて便利。涼しい。
- ・勉強に親しみやすひ、入りこみやすひ環境にあると思ふ。空調もありて、いとかひなく肥え太りたる身にこそあはれなり。
- ・一人一人に設備がととのっている。涼しい。聴きとりの練習ができる。いろいろ使うとあきずに勉強できる。
- ・涼しい。イスの座りごちがよい。きれい。パソコンが使えるので、いつもと違って新鮮な気分。
- ・涼しい。コンピュータがつかえる。ビデオがみれる。
- ・すずしい。コンピュータが使える。音楽がきこえる。きれい。
- ・涼しい。コンピューターが利用できておもしろい。
- ・涼しい。座りごちがよい。駅から近い。エレベーターがある。
- ・すずしくて授業を受けやすい環境だと思ふ。
- ・温度調整ができる。きれい。
- ・涼しい。駅から少し近い。
- ・すずしい。明るい。
- ・クーラーがきいている。
- ・涼しい。
- ・涼しい。
- ・すずしい。
- ・すずしい。
- ・すずしい。

クラス(2)

- ・あたたかいし、夏はすずしいし、画面も見やすい 好きです。
- ・仏語が聞けた。
- ・リラックスして勉強できる。いすが動く。私語が少ない。
- ・コンピューターがあるので ふつうの授業と感じが違ってよい。
- ・なんか楽しげだ
- ・様々な授業の進め方があって楽しい。
- ・ふつうの教室より楽しい雰囲気が出て、いい。音楽とかがきけていい。
- ・画面を見て、授業するのは楽しく、よかった。
- ・きれい。寒くない。
- ・ビデオが見れたり音が聴けること。冷暖房があること。
- ・聞き取りに役立つ

9 以下の自由記述文は、文字遣いや誤記等すべて原文のままである。

- ・すずしい、ぬくい。
- ・冷暖房設備がととのっている。
- ・音楽やビデオなどいろいろ楽しめる。
- ・きれい、暖かい。ビデオやコンピューターが利用できる。
- ・イスの座り心地がよい。
- ・1人1人のスペースが広い。あったかい、すずしい。
- クラス(3)
- ・自分のペースに合わせてリスニングができる。
- ・比較的自分のペースで勉強しやすい点。(聞き取りや実力テスト etc)
- ・温い、きれい、楽しい
- ・自分の聞きたいだけフランス語の文を聞ける。
- ・イスがやらかい。
- ・映画をみれてとても楽しくフランス語の聞きとりができた。
- ・快適でした。
- ・hearing の練習になる。
- ・動画が観れふ。
- ・たのしい。
- ・新鮮味がある。
- ・自分のペースで何回も会話が聞けてよかった。
- ・授業がおもしろい。
- ・発音が聞きとりやすい、普通の語学と違って新鮮。
- ・取り組む意欲がわく。
- ・全く眠くならないし、苦痛もなくこの時間と仏語を楽しめました。
- ・聞き取りの練習の時、自分が分かるまでくり返し聞ける。
- ・他の語学より楽しい。
- ・ボタンをクリックすると、発音が流れる。
- ・仏検のカコ問等はやりやすかった。音声(聞き取り)も自分で好きなだけ聞けるのがよい。
- ・楽しい。
- ・リスニングがよい。
- ・きれいで、暖かくてたのしい。
- ・楽しい。
- ・適温、きれい
- ・空調設備が整っている。明るい。
- ・コンピューターがあるため、室温が快適。
- ・リスニングの音が聞きやすかった。ビデオなどがおもしろかった。
- ・おもしろい。
- ・授業進行におくれずついていける。

短所:

クラス(1)

- ・コンピュータに慣れていない、という私個人のアタフタした性質を除けばいい環境だと思いますが。
- ・コンピュータを使いこなせない人にとっては、苦勞も多い。
- ・コンピュータ使えなかったらわからない。
- ・難しい。
- ・学情が開くのが AM 9:00 なので、9:10 までに5階にくるのが難しい。

- ・遅刻しやすい。(エレベーターのせいで。)早く来れない。(九時に開くから。)
- ・次の授業の移動に時間がかかる。
- ・5階は遠い。
- ・5階
- ・コンピュータがこわれやすい。
- ・コンピュータがよく故障する。
- ・パソコンもろい。
- ・よく止まる。
- ・とくに無し(「先生は準備が大変やるな」と思う)

クラス(2)

- ・理解するのが面倒くさい。
- ・2回に一度くらいの割合で、非常に暑い。
- ・ときに暑すぎる
- ・上がってくるのが大変 カードないと入れない(学情に)
- ・コンピューターの使い方に手こづる
- ・エレベーターがなかなかこない。
- ・コンピューターがうまく動かないことがあること。
- ・パソコンを使うのが苦手
- ・エレベーターがなかなかこない。
- ・ちょっと遠い。
- ・9時からしか開かない。遠い。
- ・学情の中にあること。
- ・いちいちここまであがなくてならない

クラス(3)

- ・イヤホンで聞くと急に眠けがおそってくる。
- ・コンピューターが、ストックしてしまいたまに時間の loss になる点。(しかし、あまり気にならないし、長所の方が多いと思う。)
- ・使うまでに時間がかかった。
- ・ねむたくなる。
- ・居眠りできない。
- ・ねむたくなりやすい。
- ・機器が動かない。
- ・Mac が使いにくい。
- ・すぐこわれる。
- ・教師、学生 ともに使いこなせていない。
- ・ときどき、フリーズしてしまったのが残念だった。
- ・壊れやすい。
- ・あたたかくて、すぐに眠くなる。
- ・はじめの頃、コンピュータにトラブルが多かった。
- ・機械の調子が悪いと何もできない。
- ・5階が遠い。
- ・うまく動かないときがあって、時間をムダにするときもある。
- ・一斉にすると全員ができないと進めないなので時間がかかる。
- ・受講人数少なし。
- ・サーバーダウンしすぎ。
- ・コンピューターが固まってしまうとどうしようもなくなる。

- ・トラブル発生時、何もできない。
- ・トイレに行きにくい。
- ・手を使って文字を書く機会が減った。
- ・コンピュータの調子がまいち。

その他:

クラス(1)

- ・でも、実際、コンピュータつかわんでもええ授業の方が多かった気がする。まア、おもしろかったから、これからも続けてほしいけど。
- ・コンピュータに「個人差」があるのはどういことだ？

クラス(2)

- ・意外と手書きを示す手法が古典的で、工夫できるのでは？
- ・おもしろかった。
- ・よかった。

クラス(3)

- ・パソコンの調子が気になった。
- ・音楽をかけてくれたりするのよかったです。
- ・もっと使うべきだ。

今年度の長所には空調にかんする指摘が目立つ。調査時期が7月であるクラス(1)の「涼しい」は他の教室における授業が如何に「暑い」ものであるかを示していよう。逆に1月に調査した(2)(3)では「暖かい」ということになる。ただし、これはクラス(3)の短所に頻出する「眠たくなる」という現象を誘発することにもなる。

「聞き取り」を長所としてあげる受講生が多いのは、昨年度と同様であり、筆者の行なった授業内容の影響が大であろう。また、昨年度は1人だけが指摘した「自分のペースで学習できる」という点を挙げるものが若干ながら増加した。このことはもちろん、「自学自習」スペースの確保の必要性をあらためて確認させるわけであるが、一斉授業裡においても一定の「自習時間」を設けることが必要であるという、授業方法論上の問題にもつながるものであろう。

短所としては、いうまでもなく「コンピュータ・トラブル」についての指摘が最も多く、次いで、学情センターの5階に存在するがゆえの「移動」にかんするものであった。また、少数ながら「コンピュータが苦手」というものも存在する。いずれも昨年度の短所にも挙げられていたものであり、前二者は本質的な問題とらならないものの、「コンピュータが苦手」はCALL教室における授業設計を行なうに当たって最も考慮すべき点であり、CAIによる授業成功の重要な鍵であることは言うまでもない。

【文献】

福島祥行(1998): パイロットクラスにおけるアンケート報告、『平成9年度学術情報総合センター LL 実験室使用実績報告書』大阪市立大学学術情報総合センター・大阪市立大学文学部: 10-16.

【アンケート全体内容】

外国語教育に関するアンケート

1. 現在の新修外国語に関して

1-1.履修方式

1-1-1. 履修決定までの期間について

- 1.長すぎる 2.短すぎる 3.現在のまゝでよい 4.開講前に決定すべきだ

1-1-2. 履修単位について

- 1.多すぎる 2.少なすぎる 3.現在のまゝでよい

1-2.科目

- 1.現状でよい 2.「会話」「講読」のやうな科目を別個に設けるべきだ 3.その他

3-1. 授業に望むこと(複数回答可)

- 1.AV 機器を多用してほしい 2.ゲーム要素を取り入れてほしい 3.文法に力を入れてほしい 4.発音に力を入れてほしい 5.練習問題に力を入れてほしい 6.コンピュータを活用してほしい 7.実際のフランス語のテキストの読解力養成に力を入れてほしい 8.ヴォキャブラリーを憶えさせることに力を入れてほしい 9.厳しく教へてほしい 10.優しく教へてほしい 11.その他()

3-2. LLL 実験室の授業について

3-2-1.コンピュータ使用の授業内容について

- 1.かなり面白い 2.やゝ面白い 3.Comme ci, comme ça 4.あんまし面白くない 5.ちっとも面白くない

3-2-2.TA について

- 1.必須 2.あなた方がよい 3.どっちでもよい 4.不要 5.判らない

3-2-3.コンピュータ利用について

3-2-3-1.利用の可能性(複数回答可)

- 1.動画 2.音声 3.聞き取り訓練 4.仮想対話 5.仮想旅行 6.タイピング 7.自学自習補助 8.実力テスト 9.インターネット 10.判らない 11.その他()

3-2-3-2.現状の利用について

- 1.もっと使ひ方があゝると思ふ 2.現状でもかなり使つてゐると思ふ 3.判らない

3-2-4.もっと利用してほしいその他機器(複数回答可)

- 1.ビデオ 2.LD 3.CD 4.MD 5.実物投影機(OHC) 6.LL 機能 7.その他()

3-2-5.LLL 実験室について

- ・長所：
- ・短所：
- ・その他：